

## 自主防災組織育成短期講習会

消防大学校では、「自主防災組織教育指導者に対する教育のあり方に関する調査研究」の一環として指導者用教本を作成し、その普及及び効果検証を行うとともに、地方公共団体における自主防災組織の指導・育成を支援するため、自主防災組織育成短期講習会を開催しています。

平成25年度は、10月17日に消防大学校で、11月14日に富山県富山市で開催し、全国各地から地方公共団体の職員116人（都道府県12人、市区町村55人、消防本部45人、消防学校4人）が受講しました。

講習会は、講義及び演習により構成し、午前中は、消防庁国民保護・防災部防災課課長補佐による「自主防災組織の目的・役割」、山口大学大学院の瀧本准教授による「今から始める地域防災の再生」の講義を行い、午後は、演習として「図上訓練（DIG手法）」を実施しました。

受講者からは、「改正災対法、自主防災組織の在り方等の基本を改めて理解することができた。」、「防災に対する市民の意識が高くなってきている。育成、指導する行政側の情報提供やスキル向上が必要だと痛感した。」、「防災と減災の違いを認識でき、自主防災組織の育成に

おいて防災と減災をバランスよく推進していく必要性が理解できた。」、「これまでの指導のまずい点が認識できた。」、「机上で検討、現場で検証の両方が重要であることを認識した。発災後の訓練ばかりに目を向けてしまいがちであったが今後は予防にも力を入れたい。」、「名ばかりの訓練ではなく本当に役に立つ訓練とは何かを知ることができた。」、「今回の受講成果を地域の自主防災リーダー研修会に活かしたい。」、そして「災害時要援護者対策について、具体的な答えが出せず、解決策を導き出すきっかけとなる講義を受けたい。」など多数の意見が寄せられました。

本講習会についてのアンケート結果を踏まえ、今後においても自主防災組織の指導・育成業務に必要な知識及び能力の一層の向上、地方公共団体の自主防災組織育成担当者に対する支援を行っていく予定です。

### 問い合わせ先

消防庁消防大学校 調査研究部  
TEL: 0422-46-1713



消防庁防災課課長補佐による講義



山口大学大学院瀧本准教授による講義



「図上訓練（DIG手法）」

